

行事予定表	
1	土
2	日
3	月 豆まき
4	火 交通安全教室(4・5歳児)/ピヨピヨ
5	水 にじくみ保育参観
6	木 ひかりくみ保育参観
7	金 カレーの日
8	土
9	日
10	月
11	火 建国記念の日
12	水 航空写真・集合写真・ぞうグループ写真撮影
13	木 ほしくみ保育参観
14	金 だいぢくみ保育参観
15	土
16	日
17	月 ふたばっこ演奏会
18	火 きりんグループ保育参観/14:00読み聞かせ(5歳児)
19	水 おべんとうデー
20	木 ぞうグループ保育参観
21	金
22	土
23	日 天皇誕生日
24	月 振替休日
25	火
26	水 通報訓練
27	木 誕生会
28	金



毎年、この時期になると、園庭の霜柱が解け、泥田のように子ども達の靴底に泥がついて転ぶので泥だらけになる。

しかし、今年めつたに霜柱が立たないTVの天気予報は、さかんに真冬並みの寒さになると言っている。今日は3月中旬の気温でしたと異なる。

日本海側は、大雪になっているがこれも温暖化の仕業だ

海面が温かくなり水蒸気が発生しそれが上空で冷やされて湿った雪になる

地球温暖化・気候変動

目先のこと、選挙のことしか考えず未来のことを考えない政治屋が跋扈子ども達の未来が心配だ。

●豆まき(3日)

・今年、何色の鬼がやってくるのでしょうか？子ども達は、自分の心の中にいる鬼をやっつけるために当日の豆まきを行います。給食も、鬼を切るために「おにぎりを食べます。」

●航空写真・集合写真

ぞうグループ集合写真(12日)

・航空写真と全園児集合写真、今年ではぞうグループのみ集合写真を10時から撮影します。9時までの登園にご協力お願いします。

●保育参観について

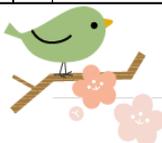
・保育参観については、以前配信しておりますので、時間等は各自ご確認ください。また、クラスの保育参観日案が配布されますので、よろしく願います。1年の成長が見られますように。

●ふたばっこ演奏会(17日)

・だいぢくみ、きりんグループ、ぞうグループの子ども達が合奏を楽しんでいます。その様子も、園全体で見て沢山の刺激を小さい子ども達にも感じてもらいたいと思います。

お知らせ

・非常勤で勤務していた宮由佳先生ですが、2/12(水)より産休・育休にはなります。



モニタリング

今年もやります。恐怖のド迫力の赤鬼を。

「鬼はエンチョウゴリラだもんね。全然怖くないよ」と言っていた子まであまりの恐ろしさに泣き叫びます。他の園の園長に、本園の豆まきの動画を見せたら、自分の園の赤鬼は、なんといい加減で、迫力のないつまらない鬼だろうと、感心しきりでした。泣きながら戦いを挑んでいる子に、最後は敗けることにしています。恐怖心を残したままにせず、正体を明かします。「君たちは、なんて勇敢で強いのだろう。君たちには勝てない。もう悪いことはしません。どうか許して下さい」と、手をつけて謝ります。そして、お面を取ると、さつきまで、大泣きしていた子が、「やっぱり園長ゴリラだ！わかっていたもん。全然怖くなかったもんね。」と笑顔になり、抱き着いてきます▼しかし、サンタは決して正体を明かしません。夢を壊してはならないのです。できるかぎり万全に変装し、声色を変えて演技します。3,4歳児は信じ込みます。5歳になると、クリスマス会を楽しみ、疑いの目を凝らし、じっと観察し、バケの皮をはがしてやるぞ、と身構えている輩がいます。

▼クリスマス会を前にしたある日、月組のN君達が、「今日は僕たちのクラスで、給食を一緒に食べてよ。約束だよ！」と私を強引に拉致しました。給食を食べ始めると、クラスのリーダー格のK君が、突然、私に向かって、「クリスマスサンタは園長ゴリラだぞ。あの目はこの目だった。声もこの声だった。サンタのいる間は、園長先生はいなかったし、サンタが帰った後に、園長先生が出てきて、園長先生の服にサンタの白い髭が付いていた。サンタは絶対に園長先生だ！」と去年のことを詳細に記憶していて、自説を見事に展開しました。それでも、「あれは園長ではないよ。本物のサンタだよ。」と

擁護してくれる子もいましたが、クラスの子ども達の様子が激変し、みんなの私を見る目が冷ややかになっていました。私は「サンタが来た時は、後ろで見ていたよ。白い毛は園長先生の白髪だよ。ほら、見て」と、髪をかき上げて反論しましたが、K君の追求の方が圧倒的に優勢でした。▼このままではまずいと一計を案じました。そして、当日の朝、秘かに代役をK先生に頼みました。クリスマス会も佳境に入り、いよいよサンタ登場。子ども達は、立ち上がり、両手を上げ「サンタが来た、本物のサンタが来た」と大騒ぎです。すると、大きなK君が、みんなを制するように、「園長ゴリラだ！あれは園長先生だ！ニセモノだ！」と声を張り上げ、執拗に叫び続けました。そこで、手はず通り、サンタが「ミスターアサダ、マイフレンドアサダ、私のお友達はどこ？」と呼びかけ、私が登場し、サンタが「オーマイフレンド」と言いながら私と握手しハグしました。K君は、驚愕のあまり、口をポカんと開け、大きく目を開き、「僕の立場はどうなるんだ！」とばかり、サンタと私をキョロキョロ見比べ、うろたえていました。クリスマス会の後、子ども達はみんな、「本物のサンタが来たよ」と喜んでいましたが、K君はうかない顔で静かに「サンタと友達だったんだね」とポツリと言いました。私は彼が可哀想になってきました。「みんなが本物だと喜んでいてからしようがないよ。園長先生とそっくりだったもんね。でも、いつか君の目が素晴らしいことがわかるよ。」とか、なんとかいいわけがましく慰めにならない言葉で、彼を慰めようと思いましたが、モニタリングではないので、正体を見せるわけにはいきななのです。みんなの夢のためにK君許して下さい。本当は君が正しいのです。

●追伸、保護者の皆様、この文章は極秘です。決して子どもの前で話題にしないでください

理事長 浅田 精利

